

2020年5月18日

長野市公共交通活性化・再生協議会 殿

株式会社長野バスターミナル

代表取締役社長 齊藤 明雄

バスターミナル事業の廃止について

拝啓 平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社は昭和42年に法に基づく「自動車（バス）ターミナル」事業設備に結婚式場と総合デパートの設備を併設した「長野バスターミナル会館」を開業し、以来53年にわたり、長野市の都市交通網整備の一端を支える役割を担ってまいりました。

しかしながら、この間、社会情勢の変化などにより路線バス利用者は減少し、現在ではバスターミナルにおける1日の乗降客が50人程度（長野駅の1/100程）、路線廃止・減便によりバスの発着は150回程度（長野駅の1/100程）となっています。

このため、バスターミナル部門は大幅な経常赤字が累積しており、営業時間の変更・定休日の設定等により人員削減を図るなど経営努力をしてまいりましたがこれ以上の赤字削減は難しく、バスターミナル機能の必要性の低下も勘案し、バスターミナル事業の継続は困難であると判断いたしました。

つきましては、貴協議会との「長野市路線バスICカードシステムの販売等に関する委託契約書」に基づき、KURURUカードに関する窓口業務を受託している乗車券販売窓口は、来る11月30日をもって廃止したく協議いたします。

この度の決定につきましては、バスターミナル窓口の利用低下や、バスターミナル事業の赤字圧縮の必要性等の事情をご賢察のうえご理解いただきますとともに、旅客等利用者への周知につきましても、ご高配いただきますようお願い申し上げます。

敬具